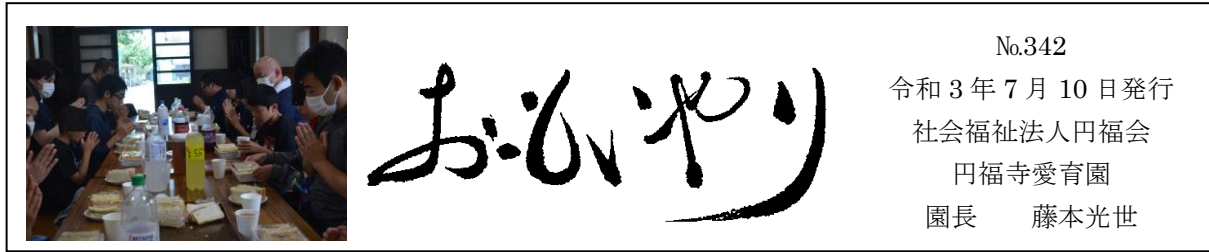


毎日雨の日が多いですが梅雨明けももうすぐです。来月はキャンプやります。



## 子どもの成長

園長 藤本光世

子どもたちと一緒に毎日を過ごして、子どもたちの変化を感じます。毎日動いています。変化がとても大きいのが一年生になったK君。まず、体が大きくなりました。勉強を一生懸命にやっている様子がうかがえます。入学時には少し遅れていたのが心配したのですが、ひらがなを覚え、カタカナを覚えた嬉しそうに言いに来ます。数字も使えるようになりました。

朝、おまいの前や食事が終わったときに抱き着いてきます。幼稚園の時は小さかったので力もそれほどではなかったのですが、今は力が強くなったので大変です。足に抱き着いたり、背中に乗ったり、くっついてきます。他の子と私の奪い合いになって、心が優しいしこだわりは少ないので、譲り合ってくれて助かります。

このような変化をみると、学校の役割はすごいなあと思います。去年は学校が臨時休業になって、愛育園で子どもたちを見たのですが「成長」の面で、学校の役割の大きさを感じました。ありがたいです。

## 一学期の行事

昔は七月に児童福祉施設連盟東北信支部主催の球技大会がありました。四月になるとチームを作って毎日練習していました。今頃は練習にも熱が入っていました。

創立七十周年記念誌「愛の花園」に中島さまが、施設対抗球技大会の練習のことを書いています。

(69p)

『施設対抗の球技大会では夏休みに入ると毎日通明小学校の校庭へ行って練習をしていました。それも朝四時頃起きて歩いて行って校庭に着くころは空が明るくなって二時間ぐらい練習して帰ってきました。そんなある日、校庭についても明るくなりません。なかなか明るくならない中でキャッチボールをしていてもボールが見えず体にあたったり、外してボールが分からなくなったりして不思議な時間を過ごしました。あとで分かったのですが、朝四時のはずが一時二十分だったのです。』

子どもたちの頑張りが伝わってきます。

今は、球技大会は無くなりました。球技大会が無くなると一学期の行事はありません。

(令和3年7月10日発行 月刊「円福」490号付録)

一昨年は、子どもたちが荒れていて、そのエネルギーを何かに向かわせなければと、三時間リレーマラソンを提案しました。河川敷グラウンドの周囲約1.6kmのコースを毎日走って練習して、子どもたちの走力がつきました。七月に開催したリレーマラソンで職員対児童の対戦はとっても盛り上がりましたよ。

今年もやりたいなあ、と、ホーム長に相談しました。どうも話が盛り上がりませんし進まないの、改めて聴くと、今は、部活に参加している子どもたちが多いので無理かなあということで、取りやめになりました。

昔は「俗人閑居為不善」で、集団養育の中で子どもたちを何か一生懸命になるものに向けないと、悪いことに心が向きそうで心配でした。でも、今は子どもたちが目的をもってよく勉強して毎日の生活をしていますし、土日は職員が子どもたちと関わって、公園等に連れて行って遊んで、子どもたちの心を満たしてくれていますから、大丈夫なものでした。小学生は日詰さまのご指導で円福寺愛育園少年野球団を結成して、少年野球の練習にも力が入って一生懸命ですますから、こちらも大丈夫です。先日の大会は、子どもたちが成長して、声もよく出て、強いチームとの対戦でしたが最終回まで競り合って、声もよく出てとてもがんばったと聞いています。

土日の子どもたちの活動の一部を紹介しましょう。去年の臨時休業の折に、子どもたちは何度か釣りに連れて行ってもらいました。釣竿を買ってもらい、それを仕掛けて高校生のN君が大きな魚を釣りました。N君はとっても喜んだと、その時に一緒に行った職員から聞きました。彼は釣りについて、厚紙五枚にも書いて発表してくれたのです。彼がそんな発表ができるとは……。驚きました。子どもの心を動かすのはこのような体験ですね。そのあとから「釣り」は子どもたちをひきつける活動になりました。中高生は土日になると釣りに連れて行ってもらっています。さあ問題です。臨時休業からこれまで一年経ちました。一年間で魚は合計何匹釣れたでしょう。答えはこの文の最後に書きます。子どもたちにとって「釣り」はとっても魅力的です。

こうして、職員が一生懸命に子どもたちに関わってくれて、子どもたちの心が満たされて、一学期に行事を入れなくても、日課に沿ってよく勉強して毎日を過ごせるようになりました。

## 愛着

宮本信也先生のご講演で、子どもにとって「愛着」がとても重要であることを知りました。それは常々感じていることでもありました。「愛着」には「アタッチメント attachment」(子どもが愛着を求める行動)と「ボンディング bonding」(大人が子どもの愛着に積極的に応える行動)があります。特に0歳～1歳は重要です。愛着形成ができないと、子どもは不安と警戒に陥り、安心した成長ができないのです。

愛育園の仕事に携わって、私は大きくなって愛着形成は重要と思っています。愛育園の子どもたちの「アタッチメント」の欲求は、とっても強いのです。心に「淋しさ」があるからかなあとも思います。その心の空白は埋めることは出来ないのですが、「埋めることをしてあげているよ」とい

うサインを送ることは、子どもの心を満たすことにつながるのではないかと感じています。昔は、子どもの数が多く、「アタッチメント」の欲求があまりに強すぎて、子どもたちに公平に応えることができないので、結局「冷たく」そして「叱る」ことでしか対応できなかったような気がします。

「しつけ」という名で、子どもの「アタッチメント」要求を拒否せざるを得ないような場面もあったのではないのでしょうか。あまりに大変で「ボンディング」ができなかったのです。

でも、今は違います。職員との信頼関係があり、子どもがあな職員なら「安心」と感じると、くっついていくのです。中学二年生にもなった男の子がおまいりに座った職員の膝に乗っています。微笑ましいです。愛着の言葉の通りに、子どもが職員にくっつくことは信頼し安心していることの証しであり、それに職員が応えること（ボンディング）は、大きくなって愛着形成になっていると私は思います。「愛着形成」がもとにあって、初めて子どもたちは将来のために努力すると思えます。それまで、大人は待つてあげなければなりません。

例に挙げた中学二年生の子は、「サッカー部に入る」と言ってきました。甘えん坊で、時には暴言を吐いたり、食事遅くて、みんなが終わってからもぐずぐずと食べていた子です。中学に入学しても部活に入らないで一年半を過ごしていました。それが、自分から挑戦しようと言ってきます。みると、顔つきまで凛々しく変わったように思いました。食事も早くなりました。



Figure 1 おまいり前のひと時 職員の膝に乗っている子は、小学三年生 学生服の子は高校二年生です。後ろに立っている子は中学二年生。みんなくっついてかっています。

子どもとの愛着形成とボンディング（絆づくり）こそ、私たちの仕事です。そう思うようになりました。それが出来れば、子どもたちは自分から困難に向かおうとするのです。自分から困難に向かおうとしないで、勉強はできないでしょう。自分を変えることは出来ないでしょう。それが出来ない限り、子どもたちの「自立」は無いと思います。愛育園の養育力が高まったことは子どもたちがくっついていく職員が増えていることで分かります。子どもたちを公園に連れて行って思いっきり遊ばせることはボンディングです。少年野球もボンディングです。子どもたちとのたくさんのかかわりはすべてボンディングでしょう。そう思います。先生方、たくさんボンディングで子どもたちと信頼関係を築き、子どもたちを安心させ、子どもたちの力を引き出してくださいね。

(一年間で釣った魚の合計数の答えです。一匹です。最初に釣れて以来一度も釣れません。きつと釣れないから魅力があるのでしょうか。なお、職員の釣りの名人で先生は、畔上先生です。)

#### 円福寺愛育園少年少女野球団

主任指導員 富沢正樹

6月19日に田毎杯という八幡スポーツ少年団さんが主催して下さる少年野球の大会に参加させて頂きました。最終回までどっちが勝つかわからない接戦に持ち込めるほど白熱した試合となりました。惜しくも最後は負けてしまいましたが、子ども達の成長を感じずにはいられない大会となりました。

4月から新チームでの活動を始めましたが、今年のメンバーはどちらかというとインドアな遊びや活動を好むタイプの子が多く、どうなる事かと心配していました。けれど、いざチーム練習が始まると、一生懸命取り組む子供たちの姿が見られました。一人一人紹介したいと思います。

小6 K君 目立つ事が苦手で消極的で一人遊びが好きなタイプなのですが、肩がいい事を理由にショートに抜擢されると、平日も職員を自主練習に誘うほどやる気スイッチが入って豹変ぶりに驚いています。

小5 S君 目立ちたがり屋でかっこつけちゃう所もありますが、小柄ながら負けん気がとっても強くて、キャッチャーとして、時には自分を抑えてチームメイトを引き立てるプレイができるようになってきました。

小5 H君 スポーツ全般苦手ですが、思い切ってフルスイングしていいよ！とアドバイスしたら、そこからバッティングの時に勇ましすぎる立ち姿になり、「誰っ!!」と思うほど顔つきが凛々しくなりました。去年と一番別人です。

小5 S君 レフトの位置から一番大声出しをして盛り上げてくれます。ノックの時の「お願いします」や野球指導されている時の「はい!」という返事がとっても気持ち良くて、純粹にひたむきに野球に取り組んでいます。

小4 T君 スポーツ全般苦手ですが、得意な事でも苦手な事でも全力でやれる性格で、センター

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

のポジションで一生懸命フライを追いかけまわしています。なんでもかんでも前に飛び出して失敗していたのが、先日から、球の落下点を意識するようになりキャッチできるようになりました。

小2 Y君 野球は未経験でしたが、器用でやる気もあって、グングン成長しています。自分がまだ遠くまで飛ばせない事を知ると自らセーフティバントを狙っていく賢さもあり、とってても有望です。2年生ながらにセカンドのレギュラーを狙っている食欲さも素晴らしいです。

小2 Y君 去年から野球をやっています。道具の準備片付け、球拾い、コーチからの指示を聞く態度、球が飛んでこなくても何度でもカバーに走る姿、全部「はなまる」の選手です。日詰コーチが「あの子の姿勢は上達する」と言っていました、練習の度に上手くなっています。

金井監督 今年からチームの監督を引き受けてくれている3年目の職員です。野球未経験ですが、何事にも物怖じしないでぶつかっていきける性格で、そんな姿に子ども達も勇気もらっているはずです。



そして、園外からも4人の選手が加入してくれており、現在選手11名で活動しています。前述したとおり、今年のメンバーは内向的な子が多いと思っていました。でも、練習のやる気を見ていると、実は人前で活躍して脚光を浴びたいという意欲があるんだという事に気づきます。これは普段の生活の中では見えづらくて、むしろそういった欲は無いんだと思っていました。私は、自分自身や競う相手と「戦う心構え」を持って努力する力が、この先必要不可欠だと思っています。だから少年野球を通じてそんな一面が表に出てきてくれたことはすごくうれしいです。

そして、もう一つ。今年度の練習が始まって、平日練習の時などに、同じ校区の別チームのYKT（横田・唐臼・高田）さんの選手の子が4、5人遊びに来るようになって一緒に練習したりしています。なにやら6年生のK君が学校で同級生の子に野球に話をしたら、意気投合してそんな流れになったようです。また先日、これまた同じ校区の会エースさんから、合同練習と練習試合のお誘いがありました。円福寺愛育園少年少女野球団が発足して5年、今までこんな事はありませんでした。なんだか愛育園が、さらに地域の中に溶け込んでいる感じがして嬉しい気持ちになります。子ども達にとっても、この交流はとてもいい影響を与えてくれると思います。こういう運びになったのには色々要因があると思いますが、一番大きな要因は園の子ども達の人柄じゃないかと思います。みんなとっても優しい性格だから、人が集まってくるんじゃないかと私はそう思っています。

(令和3年7月10日発行 月刊「円福」490号付録)

日頃から、日詰コーチの熱心な指導と、園外から参加してくれている子の保護者の方の手厚いフォローがあり、いつも頭の下がる思いですが、私自身も少年野球の活動で子ども達に沢山のいい経験を積ませてあげられるようこれからも頑張っていきたいと思います。



ホーム食 あおぞらホーム



あおぞらホーム 大山豊彦

6月26日にホーム食を行いました。今回は南米料理の「エンパナーダ」と「サンド一致」、「オレオケーキ」を作りました。南米料理の「エンパナーダ」は、私がパラグアイで食べていた郷土料理で、今回はぜひ南米料理を食べてもらいたいと思い、2週間ほど前から提案させてもらいました。最初は、みんなに喜んで食べてもらえるか心配でしたが、作る段階で中学生の

M君が率先して手伝ってくれて、炒める時には中2のS君がきてくれました。いざ香辛料を入れる時になると一人一人、香辛料の香りを嗅いだのですが、みんな嫌な顔をしてしまい、とても焦りましたが、材料と一緒に炒め始めるととても良い香りになり喜んでくれました。皮に包む時には小学生達も参加し、それぞれ個性的な包み方をしてくれて、楽しい作業になりました。エンパナーダとは別にサンドイッチの製作も進んでおり、オレオケーキも調理の先生が子供達と一緒に作っており、全体的に楽しい雰囲気で作ることができました。

完成したサンドイッチやエンパナーダをバケツの中に入れるととてもおしゃれなサンドイッチ弁当になり、みんなで美味しくいただく事ができました。一番心配していたエンパナーダの味もみんなに大好評で本当に嬉しかったです。



本格的な夏の暑さが始まってきましたが、夏バテなど体調面に気を付けながら、これからも子供達と一緒に楽しく色々な行事に取り組んでいきたいと思っています。

## ホーム食 まごころホーム



### まごころホーム 竹内早季

今回のまごころホームのホーム食は、たこ焼き、ビーフペッパーライス、中華風サラダ、ヨーグルトケーキを作りました。たこ焼きは昨年の休校期間中、子どもたちとも2~3回ほどやっていたので、子どもたちは手慣れており、テキパキと焼いています。とても器用に丸くしているので、すごいなあと思って見ていました。一緒にやった中学生のMさんは初めて焼いてみた

ということで、少し戸惑いながらも頑張って挑戦していました。また、幼児さんや小学生もデザート作りを楽しんでいます。材料を混ぜ合わせるのを小さい手でしっかりと容器を持って一生懸命やってくれました。ビーフペッパーライスや中華サラダも子どもたちが初めて作ったので、「おいしい!」とおかわりする子が何人もいました。みんなで協力して、楽しくおいしいものを作ることができて良かったです。

## あおぞら ホーム食 児童感想

6月26日にホーム食がありました。こんかいのホーム食は、サンドイッチとエンパナーダとオレオクッキーを使ったケーキを作りました。どれもおいしく作ることができました。

(小5・Aくん)

6月26日土曜日の昼食にホーム食をしました。作ったものはサンドイッチと、エンパナーダと、オレオクッキーを使ったケーキです。ぼくは前日に園の小学生と園の先生といっしょに食材を買いに行きました。ぼくがホーム食の時に作ったのは、卵サンドとオレオクッキーを使ったケーキを作りました。とても楽しいホーム食でした。

(小5・Nくん)

## まごころ ホーム食 児童感想

6月26日にホーム食をやりました。僕は、ヨーグルトケーキのデザートをお手伝いしました。ヨーグルトに砂糖とクリームチーズを入れて混ぜました。固めて、冷やし上手にできました。とても美味しかったです。ビーフペッパーライス、中華サラダ、ウインナーのたこ焼きやジュースも美味

しかったです。また、ホーム食やりたいです。

(小2・Y君)

今日は、ホーム食をやりました。メニューは、ビーフペッパーライス・たこ焼き・中華サラダ・まるごとヨーグルトケーキを作りました。私は、まず中華サラダを担当し豆苗を切りました。その後、たこ焼きもやりました。キムチやウインナーを入れました。ひっくり返すのがとても大変だったけど、すんなりできました。そして、ヨーグルトケーキも作りました。混ぜて固めてできました。どれも上手に作れてよかったです。私が、たこ焼きをみんなの分に分けました。いろんな味があって沢山食べれて美味しかったです。

普段の生活を頑張っていたからこんな上手にみんなで協力して美味しいものが作れたのかなと思いました。これからも、普段の生活を頑張ってみんなで楽しい行事を始めたり終われたらいいなと思います。とてもおいしく楽しく作れてよかったです。また、美味しい料理を作りたいです。

(中1・Mさん)



今回のホーム食では、ビーフペッパーライス・中華サラダ・たこ焼き・まるごとヨーグルトケーキを作りました。私は、たこ焼きを担当しましたが久しぶりにたこ焼きを焼いたので始めは上手くできませんでした。でも、段々感覚を思い出してきて後半ではまん丸のたこ焼きが作れるようになりました。ビーフペッパーライスは、初めて食べましたがとてもおいしくてびっくりしまし

た。ヨーグルトケーキも上手く固まっていた、箱から出したときの大きさがすごかったです。自分の学校で作ったジャムと一緒に食べたらすごく美味しかったです。

次に、ホーム食がある時も沢山美味しいものを作りたいです。

(高3・Aさん)

## 父の日の会

まごころホーム 田中沙季

6月20日に父の日の会が行われました。今年は、あおぞらホームはフラワーアレンジメントを作り、まごころホームではTシャツヤーンという布でできた糸でティッシュケースを作り、メッセージ・ヒマワリの花と一緒に男性職員にプレゼントしました。私はティッシュケース作りを担当しま

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

した。昨年の夏休みにまごころホームでは T シャツヤーンを使ってポーチを作ったこともあり、子どもたちに編み方と作り方を説明すると、どんどん作り上げていました。早い子は 2 時間程で完成させるほど手際よく仕上げ、終わっていない子を助けてあげていました。どの子も丁寧に組み立てており、協力し合う姿をたくさん見ることができました。あおぞらホームで作ったフラワーアレンジメントも、それぞれが色合いや花の形や高さを考えながら一生懸命作っていました。日頃の感謝の気持ちをメッセージカードに書いたり、メッセージカードの装飾も子どもたちが一人一人気持ちを込めて行いました。普段なかなか素直になれなかったり、時には反発してしまうこともあると思いますが、いつも支えてもらっていることに感謝の気持ちを忘れずに今後の生活を送ってもらえるといいなと思います。



#### 通明小学校運動会



あおぞらホーム 石龍成己

6月5日(土)、子ども達の通う小学校で運動会が開かれました。前日は夕方過ぎまで雨が降っていたので、延期になるかと思われましたが、当日は天気が味方してくれ、晴天の中で行われました。運動会2週間前から、一生懸命に練習してきました。学校の日課が変則的になり、毎日体育の時間が設けられてきました。どの子も、

演技を見てもらえるのが楽しみで、たくさん話をしてくれました。時に小4のT君は、ソーラン節を踊るのをとても楽しみにしていて、覚えるのは大変そうでしたが、練習があれば、上手くできなかったできないを職員に話してくれました。また、小5の子たち、タグラグビーというスポーツを運動会で披露すると嬉し気に言っており、初めて聞くスポーツでしたので、一体どんなスポーツなのか楽しみに運動会へ行きました。

当日は分散登校で行われ、1~4年生は午前中、5~6年生は午後に行われました。午前中から見たいところではありましたが、私は午後の部を見に行きました。最初は全員リレーから始まり、かなり白熱した試合を見せてもらいました。園の子供たちも一生懸命に走っていました。惜しくもどの子のチームも1番は取れませんでした。大健闘してくれたので良かったです。次にタグラグビーが行われました。普段であると騎馬戦を行うのですが、コロナの影響で実施ができないので、今回触れることを一切禁止したタグラグビーという競技に変えたそうで

(令和3年7月10日発行 月刊「円福」490号付録)

す。相手がボールをとる際に相手のタグをとると、ボールキープができなくなり、パスを出さないといけないのですが、普段おとなしいY君やH君もとても張り切ってプレーしており、すかさず相手のタグを取りに行っており、とても見ごたえのある競技でした。

そして、最後は小6の組体操。Y君にとっては最後の運動会の競技でした。今までを振り返ると、緊張して、どこか不安そうな表情をすることが多かったですが、とても頼もしく、真剣な表情で演技してくれました。テキパキと動き、土台をすることが多かったですが表情を変えず、とてもかっこよかったです。本当に最終学年として頼もしい限りです。分散での運動会とはなりませんが、みんな気持ちを持って全力で取り組めた運動会でした。

あおぞらホーム日より

あおぞらホーム 金井雄大

6月に入り、夏のような暑い日や、雨で肌寒い日等、気候の変動が激しい時期になってきました。6月は園では大きな行事はありませんでしたが、それぞれ子ども達の学校の方で様々なことがありました。

小学生は月初めに運動会があり、コロナの影響で2学年ごとに行い、園の子たちの思いっきり走る姿や、組体操やタグラグビーで一生懸命に行っている姿がありました。また中旬には、少年野球の田毎杯という大会があり、試合では、それぞれが声を出し合い、頑張っている姿がありました。2回までは0対0という勝負が出来ていましたが、3回以降、集中力が切れてしまった子もあり、1対9で負けてしまいました。それでも、途中でふてくされたり、遊んだりする事なく試合が出来て、子どもにとって良い経験ができたと思います。7月にも大会や練習試合があるので、頑張ってもらいたいです。

中学生は、いよいよ部活の方で北信大会が始まりました。2年生のY君は、野球部で三年生と出来る最後の試合でした。最初はサードを守り、サードゴロ等上手く処理してアウトを取っていました。また4回からはピッチャーを任せられ、緊張もある中ストライクを頑張って取っていました。試合は負けてしまいましたが、今後は自分たちの代を頑張ってもらいたいです。

いよいよ本格的に夏になり、各学校でプールが始まっています。子ども達もとても楽しみにしており、毎日楽しそうに学校へ行く姿を見て、素晴らしいなと感じます。

まごころホーム日より

まごころホーム 宮澤穂香

梅雨に入り、かえるの鳴き声も日に日に増していくようです。まごころの子どもたちは、父の日のプレゼント作り、6月末にある期末テストと、日々頑張っていました。父の日のプレゼント作りでは、子どもたちの中でも得意不得意があり、得意な子が苦手な

子に教えたり、積極的に手伝ってくれる姿がありました。また、中学・高校生の期末テストは、範囲も多い中で、しっかりと計画を立てコツコツと取り組んでいました。今までは、分からないから答えを見てしまうと言っていた子が、自分からここを教えてほしいと言いに来て自分で考えるようになったり、夜遅くまで一生懸命頑張っている子もいました。本番では、みんなの努力が実るよう応援したいと思います。

7月は暑さも本番を迎えます。登下校はみんな、暑くて大変だと言っています。水分をしっかり摂り、体調を崩さないよう気を配っていききたいと思います。

調理室だより

栄養士兼調理員 土屋未華

6月に入って、雨の降る日も多くなって来ました。梅雨の時期となり、気温も上がり、もうすぐ本格的な夏がやって来ると感じています。

朝食、夕食時に子供達の様子を見てみると、賑やかなで微笑ましい光景です。時々少し疲れ気味の子も見られます。気候の変化や学校生活も忙しくなり、部活動も盛んになってきたからだと思います。

今、部活に入っている子が多く、土日にも練習や大会があり、朝食も他の子より、早く食べに来ます。勉強と部活の両立は大変ですが、それでも頑張っ部活に臨む姿を見て、「行ってらっしゃい。気を付けてね。」と声をかけて見送ることも調理の大切な役目でもあると思います。また、アルバイト、習い事、少年野球などで日々頑張っている子供達全員の背中を少しでも押せるように、調理の方でも見守り、応援しています。

6月の誕生日の子がいませんでしたが、行事メニューがたくさんありました。

6月4日 虫歯予防メニュー

御飯、アジフライ、カミカミサラダ、青のりビーンズ

6月5日 月遅れ節句メニュー

わかめ御飯、兜春巻き、ほうれん草のごま和え、アイスクリーム

6月20日 父の日メニュー

ソースカツ丼、さけチーサラダ、すいか

もうすぐで夏休みがやって来ます。長期休暇になるので、子供達には夏の暑さにも負けず、元気で明るく、楽しい夏休みを過ごして欲しいと思います。